

野菜畑作生産情報（号外）

（小麦とにんにくの今後の管理について）



令和2年3月13日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

- ◎雪解けが全般に早いことから、小麦・にんにくの生育が早まる見込みです。
- ◎小麦は生育を確認し、第1回追肥を実施しましょう。
- ◎にんにくのりん片分化期は、平年より早まる見込みです。適期防除を行いましょう。

畑作物

1 小麦

（1）生育状況

- ア つがる市木造の幼穂形成期は、ネバリゴシで3月8日（平年より16日早い）、キタカミコムギで3月10日（平年より20日早い）に到達しており、平年より大幅に早まっている。
- イ 野菜研究所のネバリゴシの幼穂形成期は、3月14～15日（平年より14～15日早い）となる見込みである。

表－1 小麦の幼穂形成期の状況

地点	品 種	本 年	平年差	平 年	前 年
つがる市 木 造	ネバリゴシ	3/8	-16日	3/24	3/15
	キタカミコムギ	3/10	-20日	3/30	3/18
野菜研究所 (六戸町)	ネバリゴシ	(3/14 ～15)	(-14～ 15日)	3/29	4/3

つがる市木造：平年はネバリゴシが過去18か年、キタカミコムギが過去24か年
野菜研究所：平年は過去12か年、本年は見込み。

（2）今後の管理

- ア 消雪が早く、幼穂形成期も早まったことから、第1回の追肥時期となっているので遅れないように実施する。（窒素成分で2kg/10a程度）
- イ 根の浮き上がりを抑え、凍霜害を回避するため、ほ場に入れるところは、茎立ち前までに麦踏みを行う。ただし、粘土質土壌や転作田などで過湿なほ場では、土が固まり、根の発育が悪くなるので、麦踏みは行わない。
- ウ ほ場全体に雑草が発生した場合には、茎葉処理の除草剤を散布する。
- エ 降雨等による湿害を防止するため、明きよや排水溝を点検する。

野 菜

1 にんにく

(1) 今後の管理

- ア 野菜研究所のりん片分化期は、消雪後からの積算気温から予測すると、4月15日頃と予想され、平年より6日程度早い(3月12日時点)と見込まれる。
- イ 今後の天候によっては、さらに早まることも考えられることから、追肥を予定している場合は、作業が遅れないように準備する。
- ウ 今後は、強風や降雪、降雨で葉が傷むと、春腐病が発生しやすくなるので、降雨前の予防防除を徹底する。

表-2 野菜研究所(六戸)の作況ほのりん片分化期予測

年次	本年	平年差	平年	前年
りん片分化期	4/15 (予測)	-6日	4/21	4/20

注) ① 「福地ホワイト」のりん片分化期は、消雪後0℃以上の積算気温で200℃が目安となる。

② 正式な消雪日は1/24だが、2/5~28に積雪があり、その間の気温も低かったことから、本年は2/29を消雪日としてりん片分化期を予測した。(予測日:3/12)

◎農薬の使用に当たって、

農薬は適正に使用しましょう。

農薬の飛散を防止しましょう。

農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てないようにしましょう。

クロルピクリン剤など土壌くん蒸剤を使用する際は、必ずポリエチレンフィルム等(厚さ0.03mm以上または難透過性の資材)で被覆してください。

市販されている除草剤には、農作物等の栽培管理に使用できない「非農耕地専用除草剤」があるので御注意ください。

農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認してください。

農薬情報(http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)

農薬登録情報提供システム

【詳細検索】(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)

【作物名検索】(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp101.jsp>)

◎農作業事故はみんなで防ぎましょう。

例年、春は農作業事故が多くなる季節です。

体調やまわりの状況を確認し、安全な農作業に努めましょう。

1 慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。

2 必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。

3 自分を過信しすぎず、無理のない作業を行いましょう。

4 一人での作業は避け、やむを得ず一人で作業を行う場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。

5 家族や周りの人など、地域全体で注意を呼びかけましょう。

◎決め手は土づくり！ 「日本一健康な土づくり」運動展開中！
ほ場の準備に当たっては、土壌診断に基づいた土づくりに努めましょう。

「令和2年度野菜畑作生産情報第1号」は4月中旬に発行予定です。

報道機関用提供資料	
担当課	農産園芸課 野菜・畑作物振興グループ GM 大和山真一
電話番号	直通 017-734-9485 内線 5076
報道監	農林水産部 次長(農商工連携推進監) 船水浩人 内線 4967